



号外
 民主党プレス民主編集部
 〒100-0014
 東京都千代田区永田町1-11-1
 電話03-3595-9988 (代表)
 press@dpj.or.jp
 http://www.dpj.or.jp

<発行>
 民主党参議院比例区第37総支部
 〒822-0022
 福岡県直方市知古 764-1
 ☎0949-22-0574

2008, 08
kusuo-report
 Since2007.09 Vol.12



大島九州男
 参議院議員

参議院議員としての1年

みなさんに15万3779票ものお心を頂いてから丸1年が経ちました。

この一年、とにかく国会議員として研鑽を積むことと、みなさんにお約束した政策実現の為に邁進して参りました。

お陰様で、幾つかの法律案の策定に携わり、議員連盟を立ち上げて事務局として汗をかき、また、今も幾つかの勉強会を立ち上げるべく準備を進めているところです。

そして、議員になって実際に感じた事は、国会とは決して遠い存在ではなく、国民の生活に関係するあらゆる事が国会で決まっているという事、そして今最優先課題だと感じているのは「政権交代」「二大政党の実現」の必要性です。

党の部門会議に出席した役人は、私達の指摘に対し平気で嘘を付いたり、「与党と一体となって行っていますので…」とうそぶき反省の色さえ見せません。事実、自民党も霞ヶ関との長年のもたれ合いの為、彼らの税金の無駄使い一つ まともに調査出来ない有様で我々民主党が取り上げ指摘して初めて騒ぎ出す始末です。



よく「私の1票で何ができるんだ」という声を聞きます。

確かに国民が行使出来るのはたったの1票かもしれませんが、しかしその1つ1つのお心が大きな力となって行くのです。

実際、保守王国と言われている山口県での今年春の衆議院補欠選挙においての勝利の要因は、年金

・高齢者医療・ガソリン問題をはじめとする国民不在の政治に対する国民の大きな意思表示だと思っています。

政権交代は、「水と空気の入れ換え」です。淀んで濁りきった空気と水を入れ替え「国民主体」の政治を取り戻す為に一生懸命に頑張りたいと思います。

参議院議員 大島九州男



国会見学に訪れた子供たちに、国会内を説明する大島九州男

【現在の主な役職】

- ・文教科学委員会 委員
- ・沖縄および北方問題に関する特別委員会 委員
- ・民主党企業団体対策委員会 顧問
- ・民主党福岡県連衆議院総選挙合同選対本部諸団体対策担当
- ・民主党統合医療を普及・推進する議員の会 事務局次長
- ・民主党銃器対策作業チーム 事務局次長
- ・民主党水俣病対策作業チーム 事務局長

「参議院第1党」としての成果

2007年7月29日、第21回参議院選挙が行われ、民主党は参議院第1党に躍進。ここから国の流れが変わってきた…

167回臨時国会

2007年8月7日～8月10日（4日間）

与野党逆転国会の先駆け

参院選を受けて召集された国会で、民主党から江田五月参議院議長が選出された。民主党は年金保険料流用禁止法案を提出するなど、国民生活を重視した国会活動を本格化させた。

168回臨時国会

2007年9月10日～2008年1月15日（128日間）

安倍首相退陣と福田内閣の発足

内閣を8月27日に改造したあと、安倍首相は9月12日に突然政権を放り出した。自民党の福田康夫総裁が9月25日衆議院で首班指名された。参議院は小沢一郎民主党代表を指名した。



新テロ特措法で「再議決」の暴挙

福田内閣は、海上自衛隊によるインド洋での給油活動を継続するため、新テロ特措法提出。民主党はこれに反対し復興支援を行うテロ根絶法案を提出。11月1日テロ特措法の期限切れに伴い海上自衛隊は撤収。

新テロ特措法は参議院で否決されたが、2008年1月11日の衆議院本会議で、政府与党は57年ぶりの再議決により成立させた。

年金記録問題で政府与党を徹底追及

民主党などが国会審議等を通じて追及した結果、年金記録問題の悪質な実態と社会保険庁の不祥事が次々と暴かれる。福田首相は自民党が参議院選で掲げた年金照合の公約が実現不可能であることを認める。

さらに、民主党は、国会閉会中も含め、年金問題における政府の対応を継続的に監視している。

169回通常国会

2008年1月18日～6月21日（156日間）

ガソリン値下げを実現

民主党は道路特定財源制度改革法案等を提出し、暫定税率廃止・道路特定財源一般財源化・地方負担軽減を訴え、ガソリン税の暫定税率等が3月31日で期限切れとなり4月にはガソリン値下げが実現した。

政府与党は、4月末に暫定税率復活の実質増税法案を再議決したほか、5月13日には道路特定財源を10年間維持するための道路財源特例法案を再議決した。

後期高齢者医療制度導入で政府を糾弾

4月1日にスタートした後期高齢者医療制度は、政府の不手際も重なり国民の不満が噴出。民主党は、政府のずさんな対応や虚偽説明を批判すると共に、後期高齢者医療制度廃止法案を4野党共同で提出した。

首相問責決議案を史上初めて可決

民主党などは、6月11日参議院に福田首相問責決議案を提出し、憲政史上初めて可決した。

民主党の主張を取り入れた法案が多数成立

民主党は、参議院選挙マニフェストで国民に約束をした内容を議員立法として国会に提出した。

また、国民生活を重視し、参議院第1党の民主党の意見を与党は無視できなくなり、民主党の主張を大幅に取り入れた重要法案が多数成立した。

この1年を振り返って...

Step by Step 一步一步

大島九州男は、皆様に支えられ少しずつではありますが、確実に一步一步進んでいます。初めは小さな一歩かもしれませんが、小さな一歩を積み重ねて国民・世界の人々が“笑顔”で暮らせる社会を実現するために『奉仕と無の心』で、こらからも歩いていきます。

◇委員会◇

文教科学委員会 沖縄および北方問題に関する特別委員会 所属



文部科学部門では、168 回臨時国会から 169 回通常国会にかけて、参議院選挙マニフェストで掲げた高校無償化法案をはじめ、8本の民主党議員立法の提出、3本の超党派議員立法の成立に取り組みました。

なかでも、大島九州男が法案提出者として、小中学校に在籍する弱視の子どもたちのためのいわゆる拡大教科書の普及・充実を促す「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の促進等に関する法律案」が 169 回通常国会で可決・成立しました。

また、大島九州男は各委員会において、今の子どもたち・将来の大人たちに本当な必要な施策が策定されるよう、自分の目で見て、自分の耳で声を聞いてきた実状や、部門会議で得た専門家の意見・考えを踏まえ、正すべきところは正し、要望するところは要望しながら力のこもった質問を行いました。

拡大教科書の作成体制充実のように、大島九州男の取り組みは少しずつ前進しています。

○大島九州男が質問した各委員会○

<168 回臨時国会>

10/30...文教科学委員会

<169 回通常国会>

3/28...総務委員会

3/31...文教科学委員会

5/23...沖縄及び北方問題に関する特別委員会

5/27...文教科学委員会



◇視察◇ ～東奔西走～

大島九州男は、全国をまわり現地の生の声を国政に活かすため奔走しています。その一部を紹介します。

○青森県六ヶ所村

超党派で作る「公共事業チェック議員の会」で日本原燃幹部と意見交換会を行いました。六ヶ所村には原子力燃料の再処理工場がありますが、その敷地の真下まで活断層が延びている事を指摘。もっと原子力の安全性についてしっかりと議論しなくてはなりません。

○東京家庭裁判所の少年審判廷

家庭裁判所が相当と判断する場合に被害者等による少年審判の傍聴を認める「少年法の一部を改正する法律案」が提出されましたが、少年の健全育成という小年審判の役割に及ぼす影響も少なくないと考えられることから、民主党は、慎重審議と法案修正を求めています。

○熊本県水俣市

大島九州男が事務局長を務める「水俣病対策作業チーム」と民主党は、すべての水俣病被害者の救済を目指して環境部門に水俣病対策作業チームを設置し、被害者団体、弁護士、有識者との意見交換を行い、積極的な議論を進めています。

また、現地視察では、患者・被害者の生の声に触れながら「恒久的救済」をテーマに「水俣病に係る被害の救済に関する特別措置法案」(仮称)の策定に取り組みました。

○北海道や大阪府、愛知県名古屋市、宮城県仙台市、鹿児島県志布志市、日中交流協議機構にて中国など、その他 多数視察。



熊本県水俣市を視察



東京家庭裁判所少年審判廷を視察



青森県六ヶ所村を視察

◇地域振興◇

鳩山由紀夫幹事長 - 状況視察

大島九州男の要請を受け、鳩山由紀夫民主党幹事長が3/23に民主党の「商店街・中小企業振興対策の立案に向けた状況視察」のため北九州市小倉と福岡県直方市を訪れ商店街や建設業の方と意見交換をしました。

大島九州男は、鳩山幹事長に地域の歴史を織り交ぜながら説明し、商店街の方や建設業の方との意見交換のコーディネートをしました。

商店街振興組合の理事の方や建設業組合の方の、「より一層、地方が活性化するよう検討して欲しい」と訴え、それぞれの代表者が幹事長へ要請書を手渡しました。

それに対し鳩山幹事長は、「第2、3次産業に対する現政府の政策は乏しい。古里の新しい芽を導かせるため、民主党としても中小企業・商店街対策にも重点を置きたい」と力を込めて回答されました。



シャッター通りの日曜日の商店街

大島九州男は、その後も「中心市街地の活性化」について、商店街振興組合の方や経済産業省産業局等と意見交換の場を持ち、活力ある地域にするため活動しています。

◇政策実現に向けて◇

○医療費の削減と

「接骨医」の確立を目指して

医療制度の見直しと国民の負担削減を実現するために、部分医制度の導入拡大等を研究する議員連盟として

「統合医療を普及・促進する議員の会」を立ち上げ、大島九州男は、事務局次長として会の運営に携わっています。

今後は専門の小委員会を設置し検討しながら「民主党の政策への反映」を目指しています。



小沢代表と柔道整復師との懇談



西岡元文部大臣と塾との懇談

○学習塾の役割と民間教育を考える

個性豊かな子ども達の育成充実のため、日本の公的教育に学習塾が、どの様に関わっていくべきなのか未来ある子ども達の可能性を伸ばす為に塾の果たすべき役割を考える研究会を立ち上げました。

○法案提出

169 回通常国会では、大島九州男自身が、法案提出者となって「教科書バリアフリー法案」「学校安全対策基本法案」を参議院に提出しました。